

上切地区（高山市）

【地域の概要と事業取り組みへの経緯】

- 本地域は、高山市の中央部に位置し、中部縦貫自動車道高山ICと国道41号高山国府バイパスが交差した周辺の地域である。
- 平成9年に国営飛騨東部第一開拓建設事業により造成された。造成面積は23.77haで、圃場では水稲及びホウレンソウの雨よけハウス栽培が盛んに行われている区域である。
- 農地開発により最適に整備された農地であるが、農業者の高齢化や後継者不足等による労働力の衰退により、耕作放棄地が散見される状況であった。
- 「農地イキイキ再生週間」において耕作放棄地解消活動を実施することで、広く市民へ荒廃農地の認識を深め、解消活動の必要性を理解していただくことを目的とした。
- 当該地は、水利等圃場条件が良い遊休農地であるため、新規就農者や担い手等に斡旋できるよう農地の草刈りを実施した。

取組開始前の状況や課題

◆地域の課題

- 農業従事者の高齢化による労働力の衰退と経営状況の悪化
- 若年層の就農離れによる後継者不足に伴う農地の出し手の増加と、遊休農地の増加



取組内容

◆活動、取組実績

- 農地パトロールによる農地利用調査、遊休農地・荒廃農地の発生解消調査を実施
- 農業委員7名、県7名、市4名の合計18名が連携して草刈り作業を行い、担い手へのマッチングに繋がった。



今後の展開と方向性

◆耕作放棄地の再生利用に向けて

- 新規就農者等への圃場斡旋のための取り組み強化が必要
- 貸し付け農地の管理(草刈り等)について所有者との話し合いが必要

